

11月2日、奥飛驒温泉郷地域で市と町内会が中心となって「火山噴火防災訓練」を行います。



火山災害の講演会も開催

奥飛驒温泉郷地域にある焼岳は、市内にある5つの活火山のうちの一つですが、現在は静穏な状態です。しかし、活火山である以上は、いつ活動するかわからないため、事前の備えとして地域の避難体制を整えるとともに、訓練を行って確認します。

当日は気象庁の火口周辺警報(想定)を合図に、避難誘導や安否確認などさまざまな体制について確認します。

火山噴火防災訓練講演会

「焼岳に見られる火山活動の特質とその予知について」

講師 三宅康幸氏(信州大学教授)

日時 11月2日(日) 午後1時～

場所 奥飛驒総合文化センター(奥飛驒温泉郷村上)

※入場無料です。

問合せ 企画課
☎35-3131

経験を有事に活かす 災害活動団員がスタート

市では今月から、火災や災害などの有事の場合に出動する「災害活動団員」を導入しました。

この制度は、消防団員の確保が困難な地域での消防力の低下を防ぎ、地域の安全を確保するために導入したもので、このほど清見、朝日、高根の3支団53人に入団辞令が交付されました。

災害活動団員は、いずれも消防団OBから募集。今までの知識や経験を、有事の際に活かし、団員とともに活動にあたります。

入団した森山護さん(朝日町大廣)は、「団員減少の中、少しでも私たちの力が災害時の役に立てれば」と抱負を語っていました。



朝日支団長から辞令書を受け取る災害活動団員(朝日支所・10月1日)

問合せ

消防総務課
☎32-0119

宿儺かぼちゃに国の支援

農水省「ブランド化支援事業」に採択

高山市の特産品として生産が広がっている「宿儺かぼちゃ」が農林水産省の「農林水産物・地域ブランド化支援事業」の対象品目に採択されました。

を提供しながら販売拡大を目指します。

これは、競争力強化や地域活性化を目的に農林水産物などの地域ブランド化に取り組み団体を、国が支援するものです。

丹生川宿儺かぼちゃ研究会(若林定夫会長)では今後、料理や菓子などの調理方法



品評会では出来栄を競います

問合せ 農務課
☎35-3141

高山市の提案 暫定リスト入りならず

世界文化遺産登録の国内最終選考

ユネスコの世界文化遺産登録への推薦に向けて、高山市が岐阜県と取り組んできた共同提案が、文化庁での審議の結果、国内候補地の暫定リスト入りを果たせませんでした。

文化庁の審査では、高山市の提案について飛驒匠の木工技術に支えられて形成、発展してきた町並みや屋台が良好に残り、文化的なまとまりを保持する資産としてその価値を高く評価。しかし、現行の世界遺産の枠組みからすると課題があるとの指摘を受けました。

市では、今回の評価を検討し、県との緊密な連携を図りながら、官民一体となって、引き続き暫定リスト入りを目指していきます。

問合せ 文化財課 ☎35-3156